

農工大MOT



MOT協議会
大学合同説明会
2006年9月30日

1. 農工大MOTの特長

1. 技術リスクの最小化を図る人材の育成
 2. 農工大産学連携実績を基にしたMOT
 3. 密度の濃い教育と充実したサポートシステム
 - 定員/専任教員 (S/T 比) = 2.5
 - 完備した eラーニングシステム
 - 都心と小金井の dual campus
-

Mission



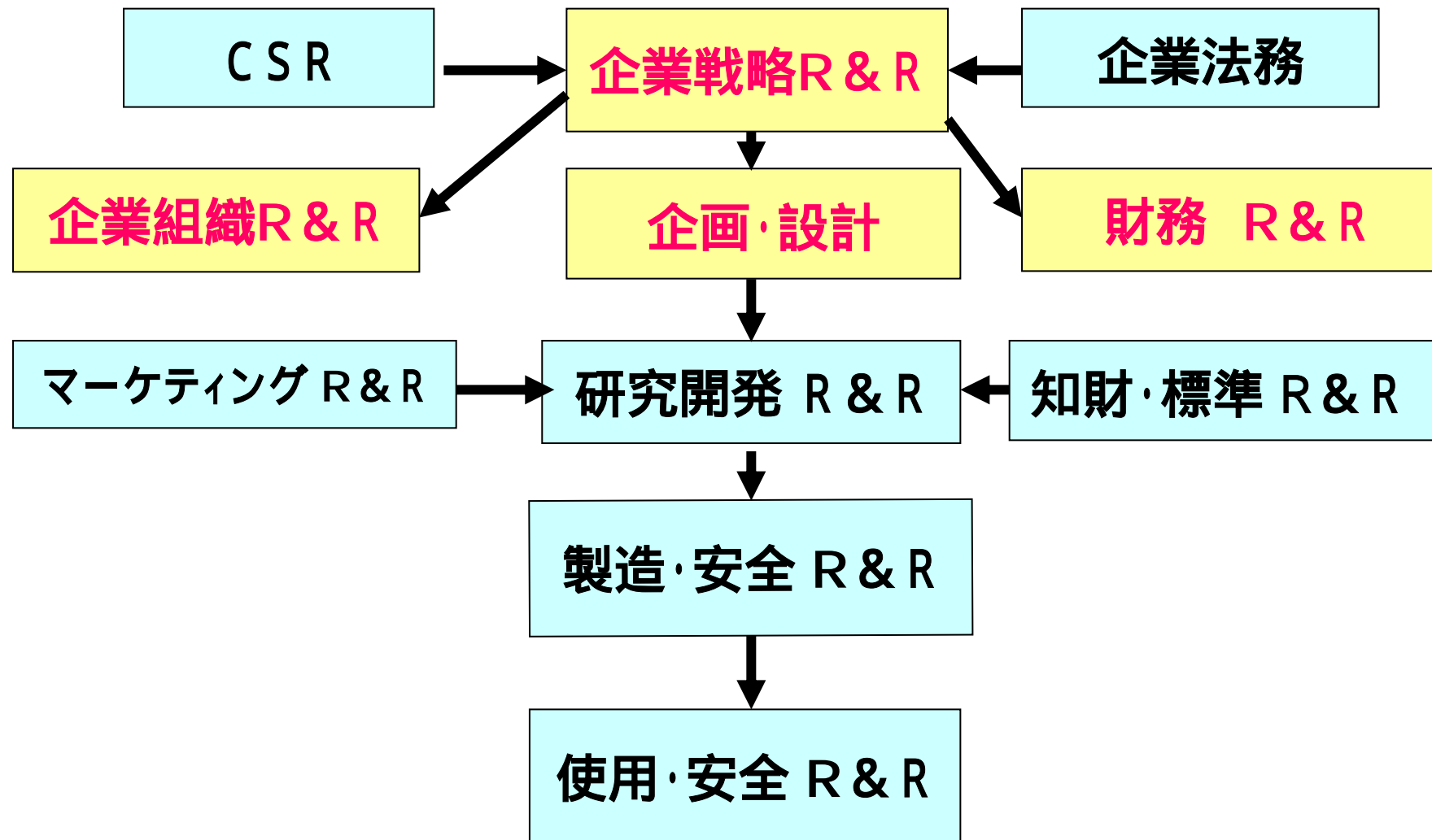
技術経営 + 技術リスクマネジメント



2. なぜ 技術リスクマネジメントか？

(1) 社会の 安全・安心の確保	予期せぬ事態に対する 社会的損失・企業損失を防ぐ
(2) 積極的な 攻めの経営	企業の発展を目指すには、 リスクに立ち向かい、 利潤追求と技術リスク回避を バランスよく配慮することが必要
(3) 知的資本の 事業化・産業化	開発から新規事業創出、市場化に 至る各段階のリスクを理解できる 高度専門職業人が必要

企業から見たリスクとリワード



3. カリキュラムの特長は？

科目区分 (科目数)	分野 (科目数)
基礎科目 (8)	経営基礎 (5) 技術リスク理解基礎 (3)
応用科目 (49)	経営戦略 (12) 先端産業創出分野 (15) 技術管理分野 (13) 知的財産・工業標準 (9)
プロジェクト研究	インターンシップ (選択必修) フィールドスタディ (選択必修) ケーススタディ (必修) ビジネスプラン (必修)

ケーススタディ 当該企業等の技術経営とリスクマネジメントの実態を調査分析し、海外同業他社との競合比較を行って、当該企業のあるべき姿をまとめる。

ビジネスプラン 特定の技術または製品のビジネス化を想定して、開発に向けたコアテクノロジー、開発体制、開発資金、市場性等ビジネス化に伴うリスクと回避策をまとめる。

期待する入学者

企業経験が数年程度以上の社会人

主に研究開発、製造、技術管理、知的財産管理等に携わっている技術者

官公庁、独立行政法人、コンサルタント会社職員

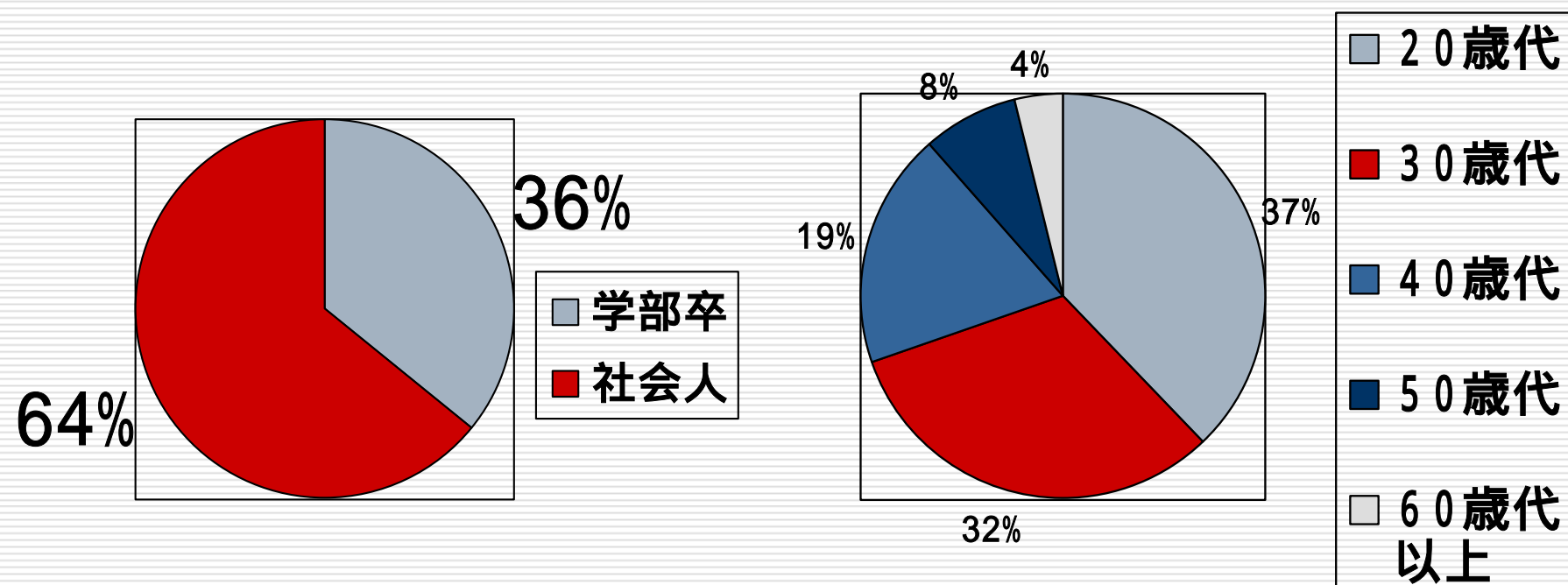
主に技術経営政策の立案・策定、コンサルタント業務に携わっている者

学部新卒者、修士修了者

将来、先端技術企業等で技術リスクに関する知見を持ち、企業経営・管理を目指す者

民間コンサルタントや官公庁等で技術経営政策の専門家を
目指す者

入学者の実績(平成18年度入学者)



e-Learning System

Urban campus

小金井



田町教室と小金井キャンパスを光ファイバケーブルで繋ぎ、双方向のリアルタイム講義を実施。学生は、どちらの教室でも受講できます。

Down town campus

田町



E-Learning

TV lecture

Post lecture

講義の音声やパワーポイント、さらに教室の雰囲気映像をビデオ配信するシステムを完備。出席できなかった講義を自宅でも、出張先のホテルからでも受講できます。

Professors

- シラバス記入
- 講義資料の掲載
- 学生からの質問への回答
- 課題掲示



Learning support sys.

インターネットを活用した学生と教員とのコミュニケーションシステムを完備。予習、復習用に講義資料を閲覧でき、レポート提出や質問、講義に関するお知らせなどにも活用しています。



Students

- 予習
- 教授への質問
- 受講生同士の意見交換
- 課題提出

開講時間帯

月曜日～金曜日	時限	土曜日
	1	10時30分 12時00分
	2	13時00分 14時30分
	3	14時45分 16時15分
	4	16時30分 18時00分
18時15分 19時45分	5	
20時00分 21時30分	6	

都心と小金井のdual campus

キャンパス・イノベーションセンター



小金井キャンパス